

千里の ふるさと

A 天竺川の源流



天竺川は上新田に源を発します。旧新田小学校脇の落合橋から北を見ると、二つの水流が合流している様子が観察できます。

B 竹林

竹林は千里の原風景です。上新田には「竹林会館」と名付けられた地区会館があり、地域の方たちの竹林への思いが偲ばれます。



C 田んぼ・畑

上新田4丁目には、今も田んぼや畑が残されています。田んぼで収穫した米は、天神社に奉納されています。

受け継がれる文化

② 上新田天神社



菅原道真を祭神とし、寛永3年(1626年)の上新田村の開発とともに創建されました。本殿は市の指定文化財です。



写真-9 天神社本殿

● 秋季例祭 (天神社)



写真-10
10月の第2日曜日に行われる秋祭りでは、通りに「揚げ吊り提灯」が飾られ、太鼓やお神輿がまちを巡行します。

● 愛宕神社



写真-11
小高い丘の上に防火の神様である愛宕権現が祀られており、お地蔵さんが納められた祠もあります。

② とんど祭 (天神社)

豊中市指定無形民俗文化財



1月14日の夜に行われる火焚き行事で、その年の豊作や無病息災を祈ります。



③ 眞覚寺の安座石

親鸞聖人の教えを広めた蓮如上人が腰かけたと伝えられています。

受け継がれた かたち

D 長屋門



屋根付きの門扉の両側に部屋があり、倉庫や作業場、使用人の住居などに使われました。

E 茅葺き屋根の形を残す民家



現在は防火のために金属の屋根材で覆われていますが、急勾配の屋根の形が上新田の伝統的景観を今に伝えます。

民家の妻壁上部の家紋



伝統家屋の妻壁に家紋が掲げられている家々が見られます。

F 鏝絵



近畿では少ないとされている左官芸術です。土蔵の窓の周囲に松竹梅が描かれています。

G 虫籠窓のある民家



火事の延焼を防ぐため、中2階の窓格子に漆喰を塗ったもの。名は形が虫籠に似ていることに由来します。通りを行く武士を直接見下ろすことがないように考案されたとも言われています。

⑤ 旧新田小学校

明治33年(1900年)に建てられた校舎で、昭和48年(1973年)まで使用されました。大阪府内の木造校舎の中で最も古く、昭和50年(1975年)に府指定文化財となりました。毎年11月に一般公開されます。

● 吉田吉兵衛の記念碑

大正時代、故郷を思って村に1万円(当時)を寄付した志をたたえて建設されました。この寄付金は基本財産として学校運営の大きな支えとなりました。



★ 問い合わせ先は、P.51「見学できる施設」コーナーへ

移りゆくとき

H 道標

左 右
か さい
ち いでら
を し (佐井寺)
(勝尾寺)



街道沿いには、古い道標がいくつか残されています。「天明元年」(1781年)の銘があり、年号付きのものとしては豊中市最古です。

I J 変わらないもの 変わりゆくもの

過去と未来をゆったりと行き来する不思議な散歩はいかがでしょうか。



歴史ある建造物とすぐ後ろにそびえる高層建築の景観。



竹林を通り抜けた先にある田んぼと現代建築との調和。